

脳性麻痺者の加齢による 変化と対応

538-543 **1** 脳性麻痺の加齢による機能低下と二次障害について
●稲澤明香, 他

545-551 **2** 脳性麻痺者の成長に応じた環境整備の実際
●西村 顕, 他

552-555 **3** 脳性麻痺者の加齢による生活機能の低下への
医療的支援
●松井 潔

556-560 **4** 高齢脳性麻痺者への訪問リハビリテーションの実際
●佐藤健三

561-565 **5** 脳性麻痺者の加齢に対する意識と OT へ求めるもの
—4 名の脳性麻痺者のインタビューをもとに
●森本誠司

566-570 **6** 脳性麻痺者の成長に応じた ST の在宅支援の実際
●長久奈緒子



近年の保健・医療・福祉の発展によって、脳性麻痺者も長期の生活を維持できるようになってきました。しかし、一方で加齢に伴う頸椎症や脊椎側弯症、股関節脱臼などの「二次的障害」による身体機能の低下とそれによる日常生活活動の低下や社会参加の機会の減少が問題となってきています。

本特集では、脳性麻痺者の加齢によって生じる身体的な機能低下と、養育者や介護者の高齢化など社会的な課題も含めながら、在宅支援のあり方について考えていきたいと思えます。

企画担当 ●伊藤隆夫（日本訪問リハビリテーション協会相談役，理学療法士）